

新外来棟が完成しました

院長 宮野前 健

新年明けましておめでとうございます。

平成の年代も天皇陛下の退位に向け、あと一年と僅かになりました。次はどのような年号・時代になるのでしょうか。この平成の時の刻みは、日本社会全体に大きな変化をもたらしてきました。政治・経済状況の浮き沈み、医療・介護など様々な社会制度ばかりではなく、科学や医療の分野も変革の波を受けています。当院も大きな社会の流れの中、平成 16 年独立行政法人化して現在 142 施設からなる国立病院機構の一員となり、今年 14 年目を迎えます。旧療養所の流れをくみ、結核の後継医療として結核を含む様々な呼吸器系疾患、神経難病、重症心身障害や小児慢性医療に取り組んできました。戦後の最盛期には 800 床有った結核病床は、これまで東病棟として 50 床を運営してきましたが、平成 29 年 11 月からは西病棟 5 階に 20 床のユニット化した病床として運用を開始しています。

また病院の念願であった老朽化した外来病棟の建て替えも終了し、今年 1 月から運用を開始いたしました。3 階建て延べ 7,000 m²で、一階外来部門は当院在所の青谷の梅をイメージした色彩や構成に、ゆったりとした待合室を設けました。2 階はリハビリや検査、薬剤部門と手術部門が中心です。また 3 階は管理部門が入り、会議・カンファランス室を設けており

病診連携などさまざまな会議や地域に開かれた勉強会・研修会にも利用したいと考えています。今年 6 月までは旧外来棟の撤去や新たな駐車場設置等で、皆様には今しばらくご迷惑をおかけいたしますが、今年もよろしくお願

い申し上げます。



外来管理治療棟建替等整備工事完成経緯について

企画課長 西村 和彦

昨年より開始した新外来管理治療棟工事は、11月に無事竣工となり、新年1月4日よりオープンしました。オープンからしばらくの間は仮設玄関での使用となり、皆様にはご不便をおかけしております。平成30年6月には、新しい玄関周りが完成となり、駐車場も増え、利便性も向上する予定です。

Before

After



病院建物全体パース図



- 建物概要 外来管理治療棟 (S造 地上3階建 延約7,000㎡)
- 1階 各科外来、放射線科、医事室、地域連携室、売店
- 2階 手術室、中央材料室、薬剤部、検査科、リハビリテーション科
- 3階 医局、事務室、会議室、研究室 等



外来診療部門

手術室看護師長 永井 里香

外来診療は新棟の1階で、入院病棟と近くなり1・2階の連絡通路で行き来が出来るようになりました。

診察室 ⑬～⑳



各診療科診察室は13室に増室され、患者さんのプライバシーを確保するために個室となっています。また、インフルエンザ、結核など感染症の患者さん専用の診察室も設置して、他の患者さんへの感染防止に対応しています。また、⑮～⑰に相談室を設け、様々な要望にお応え出来るようになりました。

小児科



小児科では、診察室入口を可愛らしい動物デザインにして分かり易くしました。小児用トイレや授乳室、プレイルームを設置するなど、乳幼児から付添いの大人までが安心して利用できる空間づくりをしています。

待合室



南側に大きな窓と空間を設けることで、待合室が広く開放的になりました。

中央処置室、化学療法室 ⑦・⑧



中央処置室、化学療法室を隣接させ広い空間をつくりました。ゆったりと点滴治療が受けられる環境を整えています。

受付



開放的な総合受付の近くにインフォメーション、地域連携室や売店が設置され利用しやすくなりました。患者さんが分かりやすく快適に受診ができるよう、配置に工夫しました。

薬局は2階に移りました

薬剤部長 覺野 律



薬局は、病棟と迅速に連携が取れるよう西病棟2階入り口から新棟に入ってすぐ右に移動しました。

正面玄関よりお越しの方は、新棟1階、売店横エレベータで2階に上がり左に曲がったところが⑤③ 薬局窓口となりますので、御用の際は、窓口横のインターフォンでお知らせ下さい。

無菌室



抗がん剤の調製を正確かつ安全に行うための安全キャビネットが更新されました。

調剤室



調剤室のスペースが広くなり、錠剤の一包化や散薬を分包調剤する錠剤および散薬分包機が更新されました。

新館オープンに伴い CT も新しくなりました

診療放射線技師長 樽井 利明



すべての患者さんに満足いただく検査を提供します

GE社製 Revolution EVO ES

新館オープンに伴い、CT 装置を更新しました。
フルデジタル検出器により、被ばく線量を低減しました。
高分解能で、きれいな画像を提供します。
検査時間も効率が上がり、今までよりさらに短くなりました。
一般撮影装置も更新され、待ち時間短縮がされます。

臨床検査科

臨床検査技師長 増田 充亮

皆様に信頼される検査科を目指します。

自動分析室

検査機器更新に伴い、検査の効率向上に努めます。



心電図・エコー検査室⑩

外来処置室、病棟連絡通路の近くになり、患者さんにとって利用しやすい場所になりました。

脳波・筋電図検査室⑤①

入口の段差がなくなり、ベッド・車イスでの入室がスムーズになりました。



リハビリテーション科

理学療法士長 小松 勝幸

外来棟2階の中央にあり、病棟からとても近くなりました。明るく、開放的なフロアに、酸素、吸引などの配管も完備し、理学、作業、言語聴覚、各療法室の連携も取りやすいようレイアウトがされています。

理学療法室⑤⑤



作業療法室⑤⑨



言語聴覚療法室⑤⑧



新たな環境でリハビリテーション医療に取り組んで参ります。

栄養管理室

栄養管理室長 須賀 勇和

入院中の食事

入院患者さんの各疾病に合った治療食を、色合い、季節感を取り入れ適切に調理し、美味しく適温にて提供しています。

栄養相談(⑩番)

管理栄養士が病状や生活環境に合わせた食生活を患者さんと共に考えて参ります。

☆個人指導内容(入院・外来)糖尿病、心臓病、腎臓病、高血圧症、脂質異常症、肥満、拒食症 他

※外来栄養相談は、**新外来相談室⑩番**で行っています。



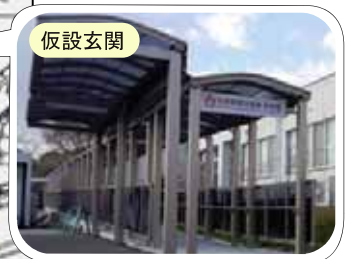
外来移転に伴う玄関の変更について

平成30年1月4日（木）より、**新外来管理治療棟がオープン**します。

旧外来管理棟については1月から解体工事を行い、新外来管理治療棟玄関と駐車場が平成30年6月に出来る予定となっております。

それまでの間につきましては、下記のとおり新外来管理治療棟への入口は**仮設玄関**を使用して頂くこととなります。

ご不便をおかけいたしますが何卒ご了承くださいませようよろしくお願いいたします。



交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR 学研都市線 京田辺から
- JR 奈良線 山城青谷から 徒歩 20分

各駅より送迎車あり

診療科のご案内

- | | | |
|---------------------|--------------------|--------------------|
| ● 呼吸器科 | ● 神経内科 | ● 小児科 |
| ● 内科 | ● 外科 | ● 消化器科 |
| ● 呼吸器外科 | ● 循環器科 | ● 整形外科 |
| ● 皮膚科 | ● リハビリテーション科 | ● 放射線科 |
| ● 麻酔科
(入院患者のみ対象) | ● 歯科
(入院患者のみ対象) | ● 耳鼻いんこう科
(休診中) |



独立行政法人国立病院機構

南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原 11 番地
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
URL <http://mkyoto-hosp.jp/>

地域医療
連携室

- ダイヤルイン 0774-52-0114 (内線 231)
- 直通 FAX 0774-58-0270
- E-mail renkei@mkyoto.hosp.go.jp